



2021年5月21日
ドルビージャパン株式会社

最新技術を活用したスポーツ視聴体験をオンラインで推進する活動 「Dolby x Sports」 Online Experience

ドルビージャパン株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長：大沢幸弘)は、立体音響技術「Dolby Atmos[®](ドルビーアトモス)」、及びHDR映像技術「Dolby Vision[®](ドルビービジョン)」による臨場感あふれるスポーツコンテンツの視聴体験をオンラインで推進する活動『「Dolby x Sports」 Online Experience』(以下、本イベント)の実施を発表しました。

ラグビー、フェンシングの試合や、相撲のドキュメンタリー映画などのスポーツコンテンツが、5月28日より、特設サイトにおいて、「ドルビーアトモス」「ドルビービジョン」によってまるで会場にいるかのような臨場感あふれる視聴体験ができます。

また、同日にスポーツ業界のインフルエンサーを登壇者としてお招きし、パネルディスカッション『「ドルビー×スポーツ」制作現場の最前線 ～Dolby Atmos / Dolby Vision』も公開いたします。「ドルビーアトモス」、「ドルビービジョン」によってスポーツコンテンツの視聴体験や制作・配信がどのように変わるのかについて、豪華登壇者のクロストークでお届けいたします。

「ドルビーアトモス」は、まったく新しい方法でスポーツコンテンツを楽しむことを可能にする立体音響技術であり、移動する音によってスポーツの迫力、及び通常では聞き取れない細部の音までも再現し、まるで会場にいるかのような体験を視聴者に提供します。

また、「ドルビービジョン」は、従来のSDR方式から大幅に向上した映像表現能力によって、ユニフォームの色、周囲の自然、会場の景色など、全ての対応機器に一貫した映像を究極のコントラストとディテールで再現します。

詳細情報は特設サイト(<https://www.dolbyjapan.com/sports>)にて発信いたします。



記

1. 「Dolby x Sports」 Online Experience 特設サイトの開設

概要：人気スポーツコンテンツの特別編集版（「ドルビーアトモス」「ドルビービジョン」対応）の配信、本イベントパネルディスカッションの配信、「ドルビーアトモス」「ドルビービジョン」を活用したスポーツ関連イベント／配信の告知などについて、情報発信致します。

URL：<https://www.dolbyjapan.com/sports>

2. 『「Dolby x Sports」制作現場の最前線 ～Dolby Atmos/ Dolby Vision』の無料配信 (5月28日～)

概要：スポーツ業界のトップランナーが集結し、最新技術を駆使したスポーツ配信・制作の未来を語るパネルディスカッション。コロナ禍により、スポーツ観戦のスタイルも多様化する中、テクノロジーの進化でスポーツコンテンツの臨場感がどのように変わるのか？豪華登壇者によるクロストークでお届けします。

登壇者：

- 藤森 由香 氏（プロスノーボーダー）
- 真鍋 杏奈 氏（株式会社ホリプロ スポーツ文化部 アナウンス室）
- 綱川 明美 氏（株式会社ビースポーク 代表取締役）
- 坂田 栄治 氏（映画「相撲道」監督／株式会社 TBS テレビ）
- 戸田 佳宏 氏（株式会社 技術局 制作技術部）
- 高橋 敬 氏（株式会社共同テレビジョン 技術センター制作技術部 音声）
- 近藤 大輔 氏（株式会社ティー・ツー・クリエイティブ 演出／ディレクター）
- 速水 康喜 氏 ※モデレーター



3. 「Dolby x Sports」 Online Experience Showcase の無料配信 (5月28日～)

概要：ラグビーやフェンシングを始めとするスポーツコンテンツ（「ドルビーアトモス」「ドルビービジョン」対応）を特別にダイジェスト編集しました。迫力のあるコンテンツをお届けします。

- トップリーグ 2018 「リコー×ホンダ」（ラグビー）
- 全日本フェンシング選手権大会 2020 「決勝」（フェンシング）
- 「相撲道～サムライを継ぐ者たち～」（ドキュメンタリー映画）

以下一部エンターテインメントコンテンツもお届けします。

- 「僕らのミニコンサート」（オペラ）
- 「咲嘩」（狂言）

視聴方法：5月28日より特設サイトにて公開いたします。

URL：<https://www.dolbyjapan.com/sports>

以上

ドルビーラボラトリーズについて

ドルビーラボラトリーズ (NYSE: DLB) は、サンフランシスコを拠点とし、世界の 20 か国以上にオフィスを展開しています。ドルビーは音響と映像の科学技術からスペクタクルな体験を作り出してきました。革新的な研究とエンジニアリングに加えて、アーティストから企業、消費者までの広範囲にわたる協力関係に基づいたエコシステムを築くことにより、ドルビーは世界の数十億の人々に画期的な体験を届けています。ドルビーシネマ、ドルビービジョン、ドルビーアトモス、ドルビーオーディオ、ドルビーボイスによる体験は、映画館、外出先、家庭、職場でのエンタテインメントとコミュニケーションを大きく変革しています。

Dolby、ドルビー、Dolby Atmos、Dolby Vision、Dolby Audio、Dolby Voice、およびダブルD記号は、アメリカ合衆国と/またはその他の国におけるドルビーラボラトリーズの商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの合法的権利保有者の所有物です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Dolby Japan 株式会社

中山 郁夫

Tel: 080-8814-7371 Fax: 03-3524-7389

e-mail: ikuo.nakayama@dolby.com